

防火認定のガレージドア

メーカーから発売されているガレージドアのなかでも認可が取得している防火認定ドアが発売されている。

防火地域や準防火地域にて採用されることが多い。

気をつけたいのは、火災の引火を防止するだけでなく、延焼を遅らせるということ。

火災に強いガレージドアという認識でいたい。

アルバード

軽く、耐久性の高いアルミ材をパネルに使ったのが“アルバード”。アルミは非常に錆びにくく、いつまでも美しい外観を保ってくれるのだ。そのアルミ材を強調するため、パネル形状もフラットに仕上げられている。光沢のある滑らかな質感は、クールでモダンな住宅にもぴったりだ。標準カラーはシルバー・ステンカラーの2色。準遮炎性能を有する防火設備タイプは、W3490×H2500mmまで。

●金剛産業

<https://www.kongo.net/>



ウッディ (防火設備タイプ)



ソリッドの防火対応版。ソリッドより目地が細い。最大サイズはW2600×H2500mm。面材は35mm一枚板。木製防火設備の基準を満たした全国で最初のガレージドアで、両面で認定を受けているのは現在(2009年10月)もこのドアのみ。

●日本ドアコーポレーション

<http://www.nidoco.co.jp/>

スティーリー



レイズドタイプ

表面仕上げは木目エンボス+単色塗装。断熱率が高いポリウレタンをパネル内隅々まで発泡注入している。スチール製にもかかわらずサイズのイーザーオーダーも可能。ヒンジ部は樹脂製ピボット採用で経年時も錆びが無く、静音性に優れている。レイズドパネル(左)のほか、フラット、ノーリブフラット(左下)などのパネルタイプがある。



フラットタイプ

防火設備は現在準遮炎性能のECタイプと遮炎性能のEBタイプがあり、EC:W3200×H2700mm、EB:W2600×H2500mmまでとなっている。木造3階建て等に使える木製防火設備は弊社のEBタイプが適応している。

●日本ドアコーポレーション

<http://www.nidoco.co.jp/>